

ご使用に際して、この説明書を必ずお読みください。
また必要なときに読めるよう大切に保管してください。

解熱鎮痛薬

第2類医薬品

すいせい

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

1. 次の人は服用しないでください

- (1) 本剤による過敏症状(発疹・発赤、かゆみ、浮腫等)を起こしたことがある人。
- (2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください

他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬

3. 服用時は飲酒しないでください

4. 長期連用しないでください



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 授乳中の人。

- (4) 水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児(15才未満)。
- (5) 高齢者。
- (6) 本人又は家族がアレルギー体質の人。
- (7) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (8) 次の診断を受けた人。

心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍

2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください

- (1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群(ステイブンス・ジョンソン症候群)、中毒性表皮壊死症(ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮膚、口や目の粘膜にあらわれる。

(裏面につづく)

肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮ふや白目が黄色くなる)等があらわれる。
ぜんそく	

(2)5~6回服用しても、症状がよくなる場合

【効能又は効果】

- (1)頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛
 (2)悪寒・発熱時の解熱

【用法及び用量】

次の量を1日2回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用してください。服用間隔は、6時間以上おいてください。

年 齢	1回量	服用回数
大人(15才以上)	1包	1日2回を 限度
11才以上15才未満	2/3包	
8才以上11才未満	1/2包	
5才以上8才未満	1/3包	
3才以上5才未満	1/4包	
3才未満の幼児	服用しないこと	

<用法及び用量に関連する注意>

- (1)定められた用法及び用量を厳守してください。
 (2)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

55320 N・8H

【有効成分及び分量(2包中)】

成 分	2包中
アセトアミノフェン	600mg
エテンザミド	1000mg
無水カフェイン	100mg

添加物として、トウモロコシデンブ、無水ケイ酸、黄色4号(タートラジン)を含有する。

【保管及び取扱い上の注意】

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
 (2)小児の手の届かない所に保管してください。
 (3)他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります)
 (4)1包を分割した残りを使用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に使用してください。
 (5)配置期限(外装に記載)をすぎた製品は服用しないでください。

【お問い合わせ先】

本剤について、何かお気づきの点がございましたら、下記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

新新薬品工業株式会社 お客様相談室

TEL:(076)435-1166(代)

受付時間:午前9:00から午後5:00まで

(土、日、祝日を除く)

製造販売元 新新薬品工業株式会社

〒930-2221 富山県富山市今市324番地

TEL:(076)435-1166(代)

副作用被害救済制度 ☎0120-149-931